

平成 23 年度図書館活動計画について

1. 基本方針

- (1) 情報提供サービスの拠点
- (2) 子ども読書活動の推進
- (3) 文化・歴史資料の保存と活用
- (4) 地域へのサービス
- (5) 世代を超えた交流の場

2. 平成 23 年度事業について

基本方針に基づく継続及び新規事業。(印新規事業)

(1) 情報提供サービス

子育て世代へ向けて

子育て世代へ向けて、『赤ちゃんの頃から、いつも身近に本がある心豊かな生活づくり』への提言と資料提供を行う。

事業名	内 容	効 果
ブックスタート 年 41 回	・乳児健診(7ヶ月・11ヶ月)での、「絵本のある子育て」支援メッセージ ・健康増進課、ボランティア、図書館の3者連携 (平成 15 年 9 月開始)	・心にゆとりを持った子育てへの提言 ・図書館利用促進 (平成 22 年度 41 回実施)
ひよこタイム 毎月第 3 火曜日 11:00 ~ 11:30	・0~2 才児対象の絵本やわらべうたあそびの時間 (平成 19 年 4 月開始)	・「ブックスタート」フォローアップ ・良質な赤ちゃん絵本との出会い、伝承あそびによる親子のスキンシップ ・母親同士のコミュニケーション (平成 22 年度 12 回開催。延べ 414 名参加)
こぐまタイム 毎月第 3 火曜日 11:30 ~ 12:00	・2~3 才児対象の絵本やわらべうたあそびの時間 ・ボランティアの協力 (平成 21 年 4 月開始)	・赤ちゃんから幼児への移行期における、良質な幼児絵本との出会い、伝承あそびによる親子のスキンシップ (平成 22 年度 12 回開催。延べ 414 名参加)
ひよここぐま スペシャル 年 1 回 7 月下旬 1 時間	・0~3 才児対象の絵本やわらべうたあそびの時間 ・平成 22 年度は、奈良県生駒市より講師を招き、お父さんも参加できる土曜日に市民総合センターで開催	・先進地での取組み事例紹介による、ボランティア研修効果 ・父親参加による家族間コミュニケーションの形成 (平成 22 年度 1 回開催。80 名参加)

絵本のある子育て 応援隊	・子育て支援 NPO や子育てサークル への講師派遣と絵本の貸出し ・平成 22 年度は、南紀子どもステー ション幼児部立ち上げ事業「本とあそぼ う」へ講師派遣と絵本貸出し	・若い子育て世代への、絵本のある 子育て支援
-----------------	--	---------------------------

青少年へ向けて

図書館での就労体験を通じて、社会へ向けての情報発信の意義を考える機会を提供する。

事業名	内 容	効 果
体験学習受入 3～5 日間	・中学生の体験学習の受入れ	・中学生の就労体験と図書館活動 への理解
就労体験受入れ 3～5 日間	・高校生の就労体験の受入れ (平成 22 年度開始)	・高校生の就労体験と図書館活動 への理解

一般へ向けて

図書資料提供に加えて、暮らしに密着した情報を得る機会を提供する。

事業名	内 容	効 果
図書テーマ展示 毎月	・時勢、季節に関する図書や開催講座 のテーマに関連する図書展示と貸出し	・市民が求める情報の発信

(2) 子ども読書活動推進

子どもたちの知的好奇心・読書意欲を掘り起こし、本の楽しさを伝える。また、子どもたちの身近にいつも本があるように、移動図書館や配本により、園や学校へ本を届ける。さらに子どもの読書活動推進のための地域ボランティアを養成する。また、田辺市教育委員会が進める「学社融合」における読書活動推進事業へ、全面的に協力する。

事業名	内 容	効 果
読書感想文コン クール	・市内の小中学生対象の読書感想文コ ンクール(新館開館記念事業)	・自主的読書への契機
おはなし会 毎週日曜日 10:30～11:00	・就学前～小学校低学年対象の絵本の 読み聞かせや紙芝居の時間	・自主的読書への契機 ・図書館員への信頼感が育まれ、 読書相談に繋がる (平成 22 年度延べ 487 人参加)
おはなしタイム 第 2・3・4 土曜日 10:30～11:00	・ボランティアによる、就学前児童や小 学校低学年対象の絵本の読み聞かせ や紙芝居の時間	・自主的読書への契機 ・地域ボランティアとの世代間交流 による情操教育 (平成 22 年度延べ 273 人参加)

おはなしランド 8月下旬 連続5日間 10:30～11:00	・夏休み版おはなし会 ・絵本の読み聞かせや紙芝居の時間と かんたん工作あそび(輪ゴムでっぽう、 どうぶつおりがみ、どうぶつ絵パズルな ど)(平成22年度開始)	・自主的読書への契機 ・工作あそびへの親子参加 (平成22年度延べ80名参加)
学校出前講座 随時 約40分	・児童、生徒や教職員、保護者対象の 講座 ・「読み聞かせ講座」「郷土の人物」ほか	・教科学習や読書活動への支援
ブックト-ク 随時 約40分	・小学校中学年以上対象 ・テーマを決めて、物語、科学等さまざ まなジャンルの図書を効果的に紹介	・子どもたちの読書意欲向上
図書整理指導 随時	・児童、生徒または、教職員、保護者ボ ランティア対象の、学校図書整理指導	・学校図書館整備と利用の促進
移動図書館 毎月巡回	・図書館本館、分室から比較的遠い地 域の小学校への移動図書館巡回	・児童、教諭への図書貸出し (平成22年度21校へ59,047冊貸 出し)
なかよし文庫 隔月巡回	・保育所(園)、幼稚園への箱バン巡回 による絵本貸出し(園での読み聞かせ、 家庭への貸出し用) ・市立保育所(園)、幼稚園へ平成22年 4月開始 民間園への拡充 平成23年4月開始	・保育士、教諭(園児・保護者)が、 必要な絵本を選べる (平成22年度8,158冊貸出し)
ボランティア講座 入門講座 年1回 養成講座 年1回	・子どもたちの読書意欲の向上のため に、ブックスタート、読み聞かせやブック トークを行えるボランティアを養成し、活 動支援と協働を図る 平成23年5月14日(土)入門講座開催 平成24年3月養成講座開催予定	・読書活動ボランティアの養成と 資質向上 (平成22年度図書館協力ボランテ ィア約50名)
学社融合事業への 協力	・公民館と小学校が進める「学社融合」 における子ども読書活動推進への協力 ・平成22年度は、中部公民館(田辺第 一小学校)主催の図書活動ボランティア 養成講座への講師派遣と図書整理ボラ ンティアへの指導	・学校と地域の公民館、図書館の 連携による、子どもの読書環境整 備

(3)文化・歴史資料の保存と活用

郷土の歴史への関心、研究への情報と資料提供のための講座を開催する。また、貴重な古文書等の今後の保存方法についての検討を開始する。

事業名	内 容	効 果
郷土史講座 毎月第2または3 金曜日 10:00～11:30	・一般対象の郷土の歴史、自然を学ぶ講座 ・紀南文化財研究会、南紀生物同好会より講師	・郷土の歴史への関心、研究への情報と資料提供 (平成22年度11回、延べ281名参加)

(4) 地域へのサービス

新館、分室から遠く来館不便な地域への移動図書館巡回により、地域の読書活動支援を行う。さらに、行政局、教育事務所との連携により、行政の情報発信と地域現状の聞き取り、関連部署への伝達を行い、地域と行政のパイプ役となる。

事業名	内 容	効 果
ふれあい文庫 毎月巡回	・新館、分室から遠く来館不便な地域への移動図書館巡回 ・行政局、教育事務所との連携による行政の情報発信と地域現状の聞き取り、関連部署への伝達	・地域の文化力向上 ・地域と行政との情報共有 (平成22年度2,615冊貸出し)
分室運営	・各教育事務所との連携による4分室(旧町村公民館図書室)の運営及び指導 ・平成21年度より、オンラインネットワークによる蔵書管理の一元化実施	・地域への図書資料提供サービスの迅速化

(5) 世代を超えた交流の場

さまざまな年代の人が集い、交流できるような、催し物や展示を行う。

事業名	内 容	効 果
おはなしのじかん 第1土曜日 30分間	・小学生から大人まで、ともに昔話を楽しむ (平成23年5月開始)	・小学生から高齢の方まで、ともに語り継がれた昔話、語り手の子ども時代の話に耳を傾け、世代を超えた交流を深める
民話スライド劇場	・地域に伝わる伝説や民話の手作りスライド鑑賞	・地元で語り継がれてきた伝説や民話を楽しみ、世代を超えた交流を深める
利用者の作品展示 毎月	・絵画、写真、手工芸など、利用者の作品展示	・展示作品の鑑賞と、作品創作への意欲 (平成22年度11回開催)

田辺市複合文化施設建築事業概要

事業年度 平成20年度から平成23年度

工事場所 田辺市湊地内（旧紀南病院跡地）

事業概要

【施設概要】

構造及び規模

- ・地上2階建て、鉄骨造り
- ・延床面積約3,300㎡程度
 - 1階：約2,300㎡（図書館、市民交流スペース）
 - 2階：約1,000㎡（歴史民俗資料館、大会議室）

図書館

- ・蔵書冊数 19万1千冊（開館当初）
 - 開架 一般約5万冊、児童2万5千冊、郷土・参考資料6千冊
 - 閉架 約11万冊

現在の図書館本館における蔵書数は約15万8千冊ですが、新図書館においては、将来的に約27万3千冊にしたいと考えています。

- ・一般閲覧コーナー及び児童閲覧コーナー（約90席）
 - おはなしのへや、乳幼児コーナー、授乳室、
 - ヤングアダルトコーナー（中高生向き図書のコナー）、
 - 郷土資料及び参考資料コーナー、
 - 学習室（40席）、視聴覚資料コーナー、

閉架書庫（約17万9千冊収容）

移動図書館用書庫（約1万2千冊収容）

特別収蔵庫、

ボランティア会議室

事務室、車庫、便所ほか

歴史民俗資料館

- ・展示室、企画展示室、収蔵庫、体験学習室、事務室、便所ほか

共通施設

- ・交流スペース、大会議室、ロッカー、エレベーター

【外溝及び配置計画】

- ・敷地中央に施設
- ・東側に駐車場（85台）、駐輪場（約180台）
- ・西側（市道下屋敷文里港線「通称：百々枝通り」）に市民広場（約1,500㎡）

総事業費	1,675,115千円
内、工事請負費	1,259,600千円（本体工事及び周辺整備工事） （平成22年度～23年度）

開館時期（予定）:

図書館	平成24年2月
歴史民俗資料館	平成24年8月

読書感想文コンクールの実施について

- 事業名 : 「読書感想文コンクール ～この本だいすき!～」
- 対 象 : 市内小中学生（自由参加）
- 目 的 : 田辺市立図書館新館開館記念事業の一環として、子ども読書活動推進事業を実施する
- 募 集 : 平成 23 年 6 月中旬、市内小中学校校長に依頼
- 応 募 : 各校で作品選考のうえ、図書館へ提出していただく（各学級 1 作品）
小学校 29 校約 190 学級、中学校 17 校（田辺中学含む）約 90 学級
- 締め切り : 平成 23 年 9 月 30 日
- 選考期間 : 平成 23 年 10～11 月
- 選考委員 : 図書館協議会委員
- 賞 : 優秀賞 小学生の部 6 作品、中学生の部 3 作品（各学年 1 作品）
入 賞 小学生の部 12 作品、中学生の部 6 作品（各学年 2 作品）
- 発 表 : 平成 24 年 4 月 田辺市広報紙面
- 表彰式 : 平成 24 年 4 月 27 日（土）予定
- 記念冊子 : 平成 24 年 4 月発行 150 部
- 主 催（担当） : 田辺市立図書館
- 協 力 : 学校教育課

正式名称決定と愛称募集のおしらせ

紀南病院跡地に建設中の複合文化施設（平成 24 年 2 月上旬開館予定）の正式名称は、「田辺市文化交流センター」に決まりました。

図書館、歴史民俗資料館、市民交流ホールを合わせ持つこの施設が、市民の皆様に愛され、広くご利用いただける様、覚えやすく親しみやすい施設の愛称を募集します。

1．施設基本理念

「だれもが学び、憩い、情報を活用できる、暮らしのなかの文化施設」
世代を超えた多くの市民交流の場としてだけでなく、生涯学習の知的活動の支援、様々な情報を発信していける受け皿として機能する施設。
日々の暮らしの中で気軽に利用することができ、多様な市民の活動をサポートできる施設。

2．応募規定

応募資格は問いません。

応募作品は、自作で未発表のものに限ります。

一人 1 作品とします。

採用作品に関する一切の権利は、田辺市に帰属します。

入選愛称とともに、「氏名」「市町村名」までの住所を公表する場合があります。

個人情報、田辺市において適正に管理し、今回の募集に必要な業務にのみ使用します。

応募作品は、返却しません。

3．応募方法

応募は、白紙用紙を使用し、 に掲げる事項を明記してください。

なお、用紙 1 枚につき、1 作品とします。

応募にあたっては、「愛称」、「愛称の説明」、「郵便番号」、「住所」、「氏名（ふりがな）」、「電話番号」を記載してください。

応募は、持参または、郵送、FAX、Eメールとします。

毎週月曜日及び 8 月 25 日（館内整理日）は、休館となります。

4．応募期間

平成 23 年 8 月 9 日（火）～8 月 31 日（水）

平成 23 年 8 月 31 日午後 5 時必着

5．採用作品の発表

田辺市広報 10 月号、田辺市ホームページに掲載します。

また、作品採用者には直接通知し、記念品を贈呈します。但し、同じ内容で複数応募があった作品が採用された場合は、抽選により決定します。

6 . 応募先、問合せ先

田辺市立図書館

〒646-0036 和歌山県田辺市上屋敷二丁目 3-43

電話 0739-22-0697 FAX:0739-22-6249

E-mail tosho@city.tanabe.lg.jp

図書館協議会視察候補館

堺市立中央図書館（堺市堺区大仙中町 18-1）

人 口：842,436 人（H23.4 月末）

概 要：

- ・約 58 万冊の資料を所蔵し、堺の歴史的資料をたくさん保存している。
- ・2011 年 1 月より、電子書籍の貸出サービスを開始。
- ・市内には、中央館のほか、13 の図書館・分館等有り。

大阪狭山市立図書館（大阪狭山市今熊一丁目 106 番地）

人 口：57,545 人（H23.4 月末）

概 要：

- ・指定管理者制度を導入し、図書館流通センターによる運営。
- ・約 22 万冊の資料を所蔵。
- ・児童に対するおはなし会などの催し物を実施している

箕面市立中央図書館（箕面市箕面 5-11-23）

人 口：130,126 人（H23.4 月末）

概 要：

- ・約 25 万冊の資料を所蔵。特に地域資料の充実。絶版となった児童書や貴重資料などを保存している。
- ・街頭紙芝居や手づくり紙芝居などのコレクションがあり、毎年手作り紙芝居コンクールを開催している。
- ・今回の視察は、建物のハード面ではなく、運営管理や、資料保存の観点から候補地を選んでおります。なお、3 図書館のうち候補地として決まった図書館以外にも、その近くの図書館も視察する場合がありますので、御了承ください。
- ・時期は、7 月下旬～8 月上旬を予定。